



2023年11号
第32号

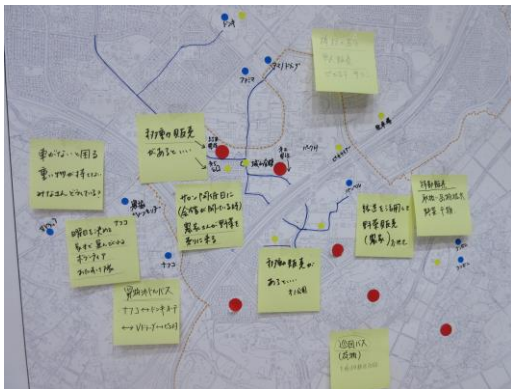
地域支え合い推進員だより

◆令和5年度ふくし座談会を開催しました◆

8月から9月の7日間にわたり、第1回ふくし座談会を開催しました。

ふくし座談会とは、地域住民や福祉関係者が地域の特性や課題を共有して、その課題を解決するための取り組みを考える場です。

地域ケア会議や日頃の相談事で多かった意見から、今回のテーマは、「買い物に困っている人を地域でどう支えるか～買い物をきっかけとした地域の交流の場作り～」としました。



小学校区ごとのグループにわかれ座談会を行い、区関係者、民生・児童委員、サロン代表者、ボランティア、地域協議会等の地域住民の方々や地域包括支援センター等の専門職の方に参加いただきました。

座談会では、小学校区ごとの地図に買い物ができる場所などの情報や交流できる場所にシールを貼り、地域で必要な取り組みを考えました。

座談会では、「公園や喫茶店など、人が集まれそうな場所でなにか販売できるといいと思う。」「移動販売車がサロンの開催日に来てもらえると、買い物だけでなく、住民の交流や見守りにもなる。」などの意見をいただきました。

また、「見守りや住民同士が交流できる場を作っていきたい」という意見から人とのつながりを大切にされていることを実感しました。



↑グループワークでは、活発な意見交換ができました。



地域支え合い推進員もグループワークに参加し、参加者の皆さんと、地域の課題や必要な取り組みについて共有し、買い物支援や交流できる場所の取り組みについて一緒に考えました。

年度末には、第2回ふくし座談会を開催する予定です。

◆地域で活躍する企業の方へ、インタビューVOL.3◆

地域支え合い推進員は、様々な企業と連携して支え合いのまちづくりをしています。地域貢献をしている企業をみなさんに知ってもらいたいと思い、小牧市で地域貢献活動をされている企業を紹介しています。今回は、食料品や日用品の宅配サービス等を行っている、コープあいち小牧センター（本庄） 仲間づくり推進担当遠藤さんの取り組みについて紹介します。

遠藤さんは、地域住民の方がコープあいちを知ってもらうきっかけとして、児童館で離乳食の試食会を行う他、保健センターやこまきこども未来館でのイベントに出展して、子育て世代の方が利用できる宅配サービス等を紹介しています。各地区のふれあい・いきいきサロンにも訪問し、コープあいちの商品や取り組みを紹介しています。



取材時に、障がいのある方が通われている、すずかけ共同作業所(南外山)の皆さんが倉庫で段ボールの回収を行っているところに出会いました。

回収した段ボールは回収業者に引き取られ、その収益が利用者さんに還元され、また、一部の段ボールは、すずかけ共同作業所の別の作業で活用されていると伺いました。

コープあいち小牧センターでは、30年前から、毎週すずかけ共同作業所に段ボールの回収をお願いしており、段ボールの提供を通して地域福祉への貢献を続けておられます。



↑（右）センター長、宮脇さん
（左）仲間づくり推進担当、遠藤さん

遠藤さんは、これからは福祉専門職が集まる場にも参加して連携していきたいとお話しくささいました。

また、コープあいち小牧センターは、「小牧市認知症見守りネットワーク」に登録し、配達時に高齢者等の見守りに協力してくださっています。



↑皆さんで協力して車いっぱい段ボールを積み込んでおられました。



小牧市社会福祉協議会 地域福祉課 地域係 地域支え合い推進員

〒485-0041 小牧市小牧五丁目 407 番地 ☎ 65-7051(直通)